

岐路に立つ寺院

どとくりゅうり

～映画『土徳流離』に真宗門徒の原点をたずねる～

日時 12月16日(金)午後2時～午後5時
(閉会后、講師を囲んでの茶話会があります)

会場 富山東別院会館 1階 研修ホール

講師 太田浩史氏(映画『土徳流離』発起人・高岡教区大福寺)

参加費 1,000円(茶話会費含む)

その他 寺族・門徒・一般問わず、事前申し込みも不要です。

主催

富山教区教化委員会

社会教化小委員会

お問合せ

真宗大谷派富山教務所

(担当:鷺尾・藤宗)

TEL:076-421-9770

E-mail

toyama@higashihonganji.or.jp

映画『土徳流離』は、東日本大震災により大きな被害を受けた福島県相馬地方で暮らす真宗門徒の姿を描いたドキュメンタリー映画です。

相馬地方の真宗門徒は、江戸時代に主に北陸地方から命がけで移住した方々がルーツなのです。

本会では、この映画に描かれている「震災により生活自体が大変な中であっても、仏事を営み、寺を護持する、真宗門徒として生きる人々の姿」を通して、私たちが忘れかけている真宗門徒の原点に立ち返りたいと思います。

